



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月7日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <https://www.rinnai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 瀬瀬 泰生 TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	162,750	1.9	12,338	△11.4	14,145	△5.7	8,802	△6.7
2018年3月期第2四半期	159,752	3.0	13,927	△6.4	14,998	△0.0	9,435	5.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 5,281百万円 (△55.2%) 2018年3月期第2四半期 11,790百万円 (－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	171.25	—
2018年3月期第2四半期	181.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	419,758	311,089	69.4
2018年3月期	422,422	307,965	68.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 291,274百万円 2018年3月期 287,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	44.00	—	46.00	90.00
2019年3月期	—	46.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	46.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	3.7	36,000	9.6	37,300	8.8	23,000	8.5	447.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	51,616,463 株	2018年3月期	51,616,463 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	216,706 株	2018年3月期	216,404 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	51,399,954 株	2018年3月期2Q	51,848,814 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2018年11月7日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では緩やかに景気が回復しているものの、中国での経済成長の鈍化や米国・中国を中心とした通商問題など、不透明感も漂ってきました。また国内経済においては、企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど回復基調が続きました。

国内の住宅関連業界は、新設住宅着工においてマンションを中心に伸び悩んでいることに加え、住宅設備機器の買替えには力強さがなく、弱含みの状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは当期を初年度とする中期経営計画「G-s h i f t 2020」をスタートさせました。「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくことや、既存商品やサービスの提供だけでなく、自社のコア技術に新しい技術を取り込み応用発展させた独自の商品・サービスを創出すべく、新しい取り組みを進めてまいりました。販売面につきましては、中国やアメリカなどの海外事業が順調であったことで増収となりましたが、損益面では、国内で高付加価値商品が伸び悩んだことなどによって、当社グループの営業利益は減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,627億50百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益123億38百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益141億45百万円（前年同期比5.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益88億2百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

主力商品である給湯暖房機、ふろ給湯器やビルトインコンロの販売が市場の伸び悩みや他社との競争激化によって減少し、日本の売上高は817億36百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は64億22百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

〈アメリカ〉

住宅設備関連の市場が順調に推移する中、利便性の高いタンクレス給湯器の需要拡大に向け、現地生産を開始いたしました。高効率タイプの新商品も好評を得ており、アメリカの売上高は142億2百万円（前年同期比7.6%増）となりました。しかし、新商品の普及拡大に向けた販売促進費や現地生産開始に伴う費用増加により営業利益は4億6百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

〈オーストラリア〉

暖冬の影響により開放型暖房機（ファンヒーター）の売上減少はあったものの、FF暖房機において政府主導の取替需要が増加しており、オーストラリアの売上高は121億38百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、プロダクトミックスの悪化によって営業利益は12億20百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

〈中国〉

給湯器の販売は都市部の成長鈍化と他社との競争が厳しくなってきたことで前年を割りましたが、政府の環境政策である石炭からガスへの燃料転換推進によってボイラーの販売が増加したことで売上が伸長し、中国の売上高は235億49百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は20億95百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

〈韓国〉

買替需要の縮小などでボイラー販売が減少したものの、電気コンロのラインアップ拡充による事業拡大は順調に進んでおり、売上は僅かに前年を上回りました。韓国の売上高は159億89百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は1億87百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

〈インドネシア〉

テーブルコンロの販売が順調であったことに加え、ビルトインコンロやレンジフードの売上増加で、現地通貨ベースでの売上高は前年を上回ったものの、円高基調による為替の影響でインドネシアの売上高は52億11百万円（前年同期比2.7%減）となりました。また、資材費の増加により営業利益は6億20百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第2四半期累計期間 (2017年4月1日 ～9月30日)		当第2四半期累計期間 (2018年4月1日 ～9月30日)		増 減		前期 (2017年4月1日 ～2018年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	91,779	57.5	95,585	58.7	3,806	4.1	202,387	58.3
厨房機器	40,773	25.5	40,235	24.7	△538	△1.3	88,364	25.5
空調機器	9,398	5.9	8,698	5.3	△699	△7.4	19,084	5.5
業用機器	4,818	3.0	4,094	2.5	△724	△15.0	9,499	2.7
その他	12,982	8.1	14,136	8.7	1,154	8.9	27,735	8.0
合 計	159,752	100.0	162,750	100.0	2,998	1.9	347,071	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第2四半期累計期間 (2017年4月1日～9月30日)			当第2四半期累計期間 (2018年4月1日～9月30日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	49,704	30,674	80,378	53,091	32,208	85,300
II 連結売上高 (百万円)	—	—	159,752	—	—	162,750
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	31.1	19.2	50.3	32.6	19.8	52.4

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億64百万円減少し4,197億58百万円となりました。また、負債は57億88百万円減少し1,086億68百万円となり、純資産は31億23百万円増加し3,110億89百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は69.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ28億94百万円増加し1,045億92百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に営業利益の確保による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少等の結果、営業活動によって得られた資金は83億34百万円(前年同期比77.4%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出等により、投資活動の結果支出した資金は3億67百万円(前年同期比93.3%減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払による支出等により、財務活動の結果支出した資金は37億71百万円(前年同期比59.8%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,771	126,875
受取手形及び売掛金	66,341	63,763
電子記録債権	8,858	7,142
有価証券	17,920	21,560
商品及び製品	27,330	32,199
原材料及び貯蔵品	16,014	16,056
その他	3,438	3,576
貸倒引当金	△1,213	△1,152
流動資産合計	263,462	270,021
固定資産		
有形固定資産	83,415	83,237
無形固定資産	6,350	5,929
投資その他の資産		
投資有価証券	46,067	37,170
その他	23,196	23,464
貸倒引当金	△68	△65
投資その他の資産合計	69,194	60,569
固定資産合計	158,960	149,736
資産合計	422,422	419,758
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,953	19,152
電子記録債務	32,771	30,963
未払法人税等	4,843	3,725
賞与引当金	4,676	4,462
製品保証引当金	4,602	4,277
その他の引当金	976	699
その他	22,082	23,444
流動負債合計	92,905	86,725
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	147	100
退職給付に係る負債	10,466	10,459
その他	8,682	9,127
固定負債合計	21,551	21,942
負債合計	114,457	108,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	258,814	266,829
自己株式	△1,860	△1,863
株主資本合計	272,170	280,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,583	7,184
為替換算調整勘定	4,682	314
退職給付に係る調整累計額	3,846	3,592
その他の包括利益累計額合計	15,112	11,092
非支配株主持分	20,682	19,815
純資産合計	307,965	311,089
負債純資産合計	422,422	419,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	159,752	162,750
売上原価	107,039	109,507
売上総利益	52,713	53,242
販売費及び一般管理費	38,785	40,904
営業利益	13,927	12,338
営業外収益		
受取利息	459	466
受取配当金	397	395
為替差益	54	421
その他	322	600
営業外収益合計	1,233	1,882
営業外費用		
固定資産除却損	69	51
その他	92	23
営業外費用合計	162	75
経常利益	14,998	14,145
特別利益		
受取保険金	291	—
補助金収入	—	69
特別利益合計	291	69
特別損失		
固定資産圧縮損	—	69
特別損失合計	—	69
税金等調整前四半期純利益	15,290	14,145
法人税、住民税及び事業税	5,041	4,305
法人税等調整額	△684	△437
法人税等合計	4,357	3,867
四半期純利益	10,933	10,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,498	1,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,435	8,802

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	10,933	10,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,384	601
為替換算調整勘定	△473	△5,350
退職給付に係る調整額	△54	△247
その他の包括利益合計	856	△4,996
四半期包括利益	11,790	5,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,560	4,781
非支配株主に係る四半期包括利益	1,229	500

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,290	14,145
減価償却費	5,046	5,410
売上債権の増減額 (△は増加)	△993	3,692
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,596	△6,103
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,031	△5,180
その他	2,695	697
小計	10,411	12,661
利息及び配当金の受取額	837	837
補助金の受取額	—	196
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△6,545	△5,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,699	8,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,258	△17,678
定期預金の払戻による収入	18,170	18,059
有形固定資産の取得による支出	△9,193	△7,367
投資有価証券の取得による支出	△313	△3,915
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,808	10,511
その他	271	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,514	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△6,006	△2
配当金の支払額	△2,275	△2,363
非支配株主への配当金の支払額	△1,053	△1,367
その他	△52	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,388	△3,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	△256	△1,322
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,460	2,872
現金及び現金同等物の期首残高	95,297	101,697
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	21
現金及び現金同等物の四半期末残高	84,836	104,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	84,202	13,196	12,105	20,402	15,879	5,357	151,144	8,608	—	159,752
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,504	—	75	840	737	295	18,453	1,352	△19,805	—
計	100,706	13,196	12,180	21,243	16,617	5,653	169,597	9,961	△19,805	159,752
セグメント利益	7,671	804	1,312	1,898	149	797	12,632	1,313	△18	13,927

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	81,736	14,202	12,138	23,549	15,989	5,211	152,827	9,923	—	162,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,801	—	73	718	508	318	20,419	1,303	△21,723	—
計	100,537	14,202	12,211	24,267	16,497	5,529	173,246	11,227	△21,723	162,750
セグメント利益	6,422	406	1,220	2,095	187	620	10,952	1,538	△152	12,338

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。